

サマー・サイエンスキャンプ 2013

「ウシの行動測定と牛肉ができるまでを体験しよう」

(実施機関：農研機構 東北農業研究センター)

1. プログラム概要

(1) ウシを快適な環境で育てて牛肉を作る

おいしい牛肉を作るウシにとって、快適な環境とはどんなところか、畜舎や放牧地を見学しながら講義を行います。

(2) ウシの行動を測定する

ウシにとっての快適性を推定するために、ウシの行動の監視方法を学び、ウシの採食、反芻、休息等の行動を測定するための計測器を作り、ウシへの装着等、測定方法を実習します。また、ウシに取り付けた計測器の記録から夜間におけるウシの行動を分析する手法を学び、ウシの行動の解析方法等を実習します。

(3) 牛肉のおいしさを調べる

日本短角種（北東北地方で飼育されている和牛で、赤身肉が多い）等の牛肉がもつ成分、おいしさに関わる分析技術を学び、牛肉の硬さや熟成による変化、官能検査等を実習します。

(4) ウシの胎子ができるまで

バイテクを利用した子牛生産技術の概要を学び、畜舎での雌牛発情の新たな発見方法や実験室における受精現象を学び、生産現場での胎子（たいし）の観察方法等について実習します。

2. スケジュール

1日目 8月6日（火）

12:30～13:00 集合受付

13:00～13:30 開講式／オリエンテーション

13:30～14:30 試験ほ場、研究成果展示室の見学

14:30～15:00 ウシを快適な環境で育てて牛肉をつくる（講義）

15:00～17:00 ウシの行動を測定する（講義、実習）

2日目 8月7日（水）

9:00～12:00 ウシの行動を測定する（続き）（講義、実習）

12:00～13:00 昼食

13:00～17:00 牛肉のおいしさを調べる（講義、実習）

17:30～19:00 講師等との交流会

3日目 8月8日（木）

9:00～12:00 ウシの胎子ができるまで（講義、実習）

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 キャンプのまとめ

14:00～14:30 閉講式